

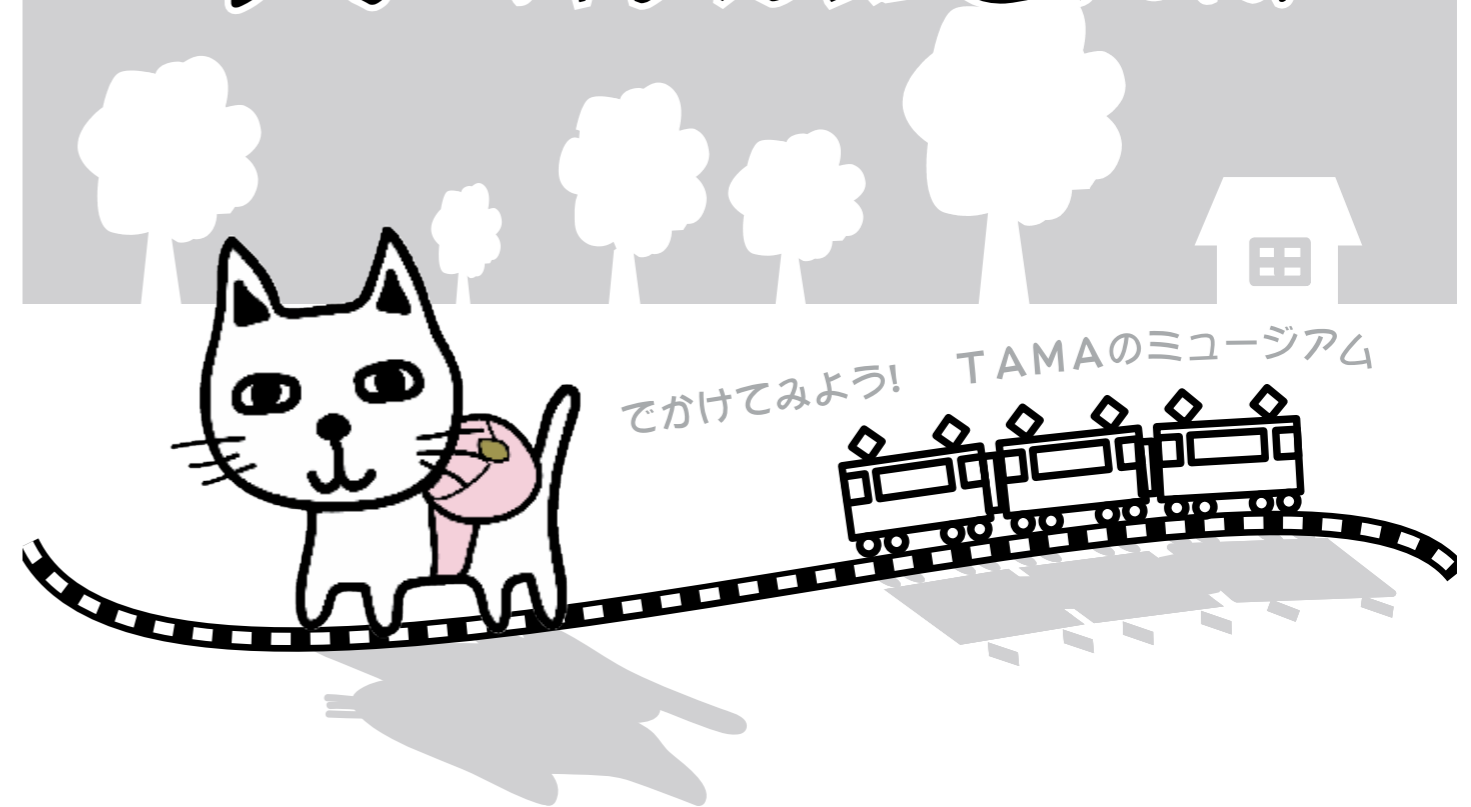
三多摩公立博物館協議会加盟館一覧

No.	館名	住所	電話	交通
1	奥多摩水と緑のふれあい館	〒198-0223 西多摩郡奥多摩町原5	0428-86-2731	JR青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	〒190-0211 西多摩郡檜原村3221	042-598-0880	JR五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	たましん御岳美術館	〒198-0173 青梅市御岳本町1-1	0428-78-8814	JR青梅線「御岳駅」下車徒歩20分
4	青梅市郷土博物館	〒198-0053 青梅市駒木町1-684	0428-23-6859	JR青梅線「青梅駅」下車徒歩15分
5	あきる野市五日市郷土館	〒190-0164 あきる野市五日市920-1	042-596-4069	JR五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩17分
6	羽村市郷土博物館	〒205-0012 羽村市羽741	042-558-2561	①JR青梅線「羽村駅」西口下車徒歩20分 ②東口コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	コニカミノルタサイエンスドーム (八王子市こども科学館)	〒192-0062 八王子市大横町9-13	042-624-3311	JR中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩2分。
8	八王子市郷土資料館	〒192-0902 八王子市上野町33	042-622-8939	①JR中央線「八王子駅」南口から徒歩15分 ②JR中央線「八王子駅」南口からバス「東京家政学院」行き、「上野町三丁目」下車徒歩3分 ③JR八高線「北八王子駅」下車徒歩10分 ④JR八王子駅より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩5分
9	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構)	〒192-0032 八王子市石川町2683-3	042-644-3751	JR青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩7分
10	福生市郷土資料室	〒197-0003 福生市大字熊川850-1	042-530-1120	JR青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩7分
11	瑞穂町郷土資料館(けやき館)	〒190-1202 西多摩郡瑞穂町大字駒形富士山316-5	042-568-0634	JJR八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩20分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	〒208-0004 武蔵村山市本町5-21-1	042-560-6620	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩1分
13	立川市歴史民俗資料館	〒190-0013 立川市富士見町3-12-34	042-525-0860	JR「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車徒歩5分
14	日野市郷土資料館	〒191-0042 日野市程久保550	042-592-0981	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡団地」下車徒歩5分 ②モノレール「程久保」下車徒歩7分
15	首都大学東京91年館	〒192-0397 八王子市南大沢1-1	042-677-1111	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約5分
16	帝京大学総合博物館	〒192-0395 八王子市大塚359	042-678-3675	多摩モノレール「大塚・帝京大学」駅下車徒歩15分、京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅、「高幡不動」駅、「多摩センター」駅より京王バス「帝京大学構内」行きに乗りし終点にて下車
17	東大和市立郷土博物館	〒207-0031 東大和市奈良橋1-260-2	042-567-4800	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行で「八幡神社前」下車徒歩2分
18	東村山ふるさと歴史館	〒189-0021 東村山市諏訪町1-6-3	042-396-3800	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩8分
19	国立ハンセン病資料館	〒189-0002 東村山市青葉町4-1-13	042-396-2909	西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約10分、「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約20分(いずれも「ハンセン病資料館」で下車)
20	くにたち郷土文化館	〒186-0011 国立市谷保6231	042-576-0211	JR南武線「矢川駅」下車徒歩8分
21	たましん歴史・美術館	〒186-8686 国立市中1-9-52	042-574-1360	JR中央線「国立駅」南口前
22	パルテノン多摩歴史ミュージアム	〒206-0033 多摩市落合2-35	042-375-1414	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
23	東京都立埋蔵文化財調査センター	〒206-0033 多摩市落合1-14-2	042-373-5296	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
24	町田市立博物館	〒194-0032 町田市本町田3562	042-726-1531	小田急線・JR横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車徒歩7分
25	府中市郷土の森博物館	〒183-0026 府中市南町6-32	042-368-7921	京王線・JR武蔵野線「分倍河原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小金井市文化財センター	〒184-0003 小金井市緑町3-2-37 (浴恩館公園内)	042-383-1198	JR中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環⑩「小金井公園入口」下車徒歩5分
27	江戸東京たてもの園	〒184-0005 小金井市桜町3-7-1	042-388-3300	JR中央線「武蔵小金井駅」北口からバス5分「小金井公園西口」下車徒歩5分
28	東京農工大学科学博物館	〒184-8588 小金井市中町2-24-16	042-388-7163	JR中央線「東小金井駅」南口下車徒歩9分
29	清瀬市郷土博物館	〒204-0013 清瀬市上清戸2-64-41	042-493-8585	①西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩10分 ②駅北口バス乗り場1番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩1分
30	多摩六都科学館	〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64	042-469-6100	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩18分 ②西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」北口よりはなバス第4北ルート多摩六都科学館下車
31	調布市郷土博物館	〒182-0026 調布市小島町3-26-2	042-481-7656	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩4分
32	国立天文台天文機器資料館	〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1	0422-34-3688	中央線武蔵境駅南口から小田急バス「狛江駅行き」天文台前下車、京王線調布駅北口から小田急バス「武蔵境駅南口行き」天文台前下車
33	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	〒180-0022 武蔵野市境5-15-5	0422-53-1811	①JR中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」より徒歩12分 ②武蔵境駅北口よりムーバス境西循環に乗りし、4番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
34	狛江市立古民家園 (愛称:むいから民家園)	〒201-0013 狛江市元和泉2-15-5	03-3489-8981	①小田急線狛江駅より徒歩10分 ②狛江駅北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

催し物案内2017年度春・夏号

2017年4月～2017年9月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。
「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。
多摩地域の博物館をめぐってみませんか!

出かけてみよう!
多摩の博物館
MAP

23 東京都立埋蔵文化財調査センター
多摩丘陵の埋蔵文化財を展示、遺跡復元「縄文の村」も。

24 町田市立博物館
考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。

25 府中市郷土の森博物館
府中の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。

1 奥多摩水と緑のふれあい館
水環境の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。

2 檜原村郷土資料館
檜原の歴史・民俗・自然を展示。

3 御岳美術館
明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。

4 青梅市郷土博物館
青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する史料を展示。

5 あさき野市五丁目郷土館
五日市の歴史・民俗・自然。五日市書道関係資料も。

6 羽村市郷土博物館
羽村の歴史と文化、玉川上水と中里川に関する史料を展示。

7 コカミナルタサイエンスドーム
2007年7月、遊ヒ科野と宇野をテーマにリニューアルオープン。

8 八王子市郷土資料館
八王子の歴史と民俗。重人形や雑物の展示もある。

9 集合住宅歴史館(都市再生機構内)
歴史的に面白い集合住宅を移築復元して展示。

10 福生市郷土資料室
福生の歴史・民俗・自然を紹介。蘭館も復元展示。

11 瑞穂町郷土資料館(げやき館)
瑞穂の歴史と民俗を展示。御戸陣陣の再現も。

12 武蔵村山市立歴史民俗資料館
武蔵村山の歴史・民俗・自然を深山丘陵と武蔵野台地の関係などを通して紹介。

13 立川市歴史民俗資料館
立川の歴史や文化、自然風土を紹介。幸町には茅葺きの古民家も。

14 日野市郷土資料館
日野の歴史・民俗・自然。幅広い分野の調査研究を市民とともに展開中。

15 首都大学東京91年館
大学新築の学術棟本・資料。最新の研究成果を展示。

16 帝京大学総合博物館
帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。

17 東大和市郷土博物館
東大和の歴史・民俗、東山丘陵の自然を紹介。おかげ餅出しや77神物が評判。

18 栗村山ふるさと歴史館
「みち」をテーマに、栗村山の歴史を紹介する。

19 国立ハンセン病資料館
ハンセン病に関する歴史・民俗・自然。最新の研究成果を展示。職員・差別・排除の解消を目指す。

20 くにたち郷土文化館
国立の歴史、川口の自然などを展示。すぐ近くには古民家も。

21 たましん歴史・美術館
多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。

22 ハルテノン多摩歴史ミュージアム
多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。

26 小金井市文化財センター
小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。

27 江戸東京たてもの園
江戸東京の歴史と文化を育む。「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

28 東京工科大学科学博物館
繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究や女性の会による活動も盛ん。

29 清瀬市郷土博物館
清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。

30 多摩六都科学館
「最も先進的」として世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室のある参加体験型の科学館。

31 調布市郷土博物館
原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

29 国立天文台天文機器資料館
日本における天文学の歴史と最新の研究プロジェクトについて、ご見学いただけます。

33 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館
武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

34 狛江市立古民家園(愛称:むいから民家園)
文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

29	清瀬市郷土博物館 (042-493-8585) 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。
開館時間	9:00～17:00
休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3
入館料	無料(常設展示) 企画展は有料

- 企画展「最先端映像技術展」(7.22～8.20)
体を使って映像で遊ぶ、仮想現実の世界を体験など、見て、触れて、参加して楽しめる映像アトラクションを集めました。未就学児、小中学生に最先端の映像技術を通してコンピューターへの興味、関心を高める一助となるように開催します。入場料 大人・大学生500円 小・中・高生300円 未就学児は18歳以上の同伴者がいれば無料で入場できます。
- 年中行事 茶摘み・茶揉み(5.14) 小麦の棒打ち(7.9) いずれも参加見学は無料
- ミュージアムシアター(4.15、5.27、6.17) 各土曜日午後1時30分から開催。内容はお問い合わせください。
【URL】 <http://www.city.kiyose.lg.jp/>

30	多摩六都科学館 (042-469-6100) 世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室がある参加体験型の科学館。
開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)
休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、 祝日の翌日、その他機器整備の 休館あり(4.10～13、5.8～ 11、9.1、9.4～7)
入館料	大人500円、小人(4歳～高校生)200円 ※年間パスあり プラネタリウム、大型映像は別料金

- 春の特別企画展「Zoooooo!～みるみる大きくしてみると?～」(3.18～5.7) ※4.14、18～21、25～28は閉場
- 生解説プラネタリウム「Zoooooo! in 宇宙」(3.18～5.7) ※5.12以降はテーマを変更して投影
- 大型映像「大英自然史博物館ナイトツアー～よみがえる絶滅動物～」(3.18～終了日未定)
- 大型映像「ノーマン・ザ・スノーマン～流れ星のふる夜に～」(3.18～終了日未定)
【URL】 <http://www.tamarokuto.or.jp>

31	調布市郷土博物館 (042-481-7656) 原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。
開館時間	9:00～16:00
休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3
入館料	無料

- 新収蔵資料展「市民からのおくりもの」(4.4～6.18)
市民から寄贈された資料の中から、近年収蔵された資料の一部を紹介します。
- 企画展「調布市ゆかりの作家と郷土玩具(仮)」(7.8～9.24(予定))
調布市にゆかりのある作家が描いた郷土玩具の絵と、加藤文成郷土玩具コレクションを合わせて展示します。
- 移動展「東京1964 オリンピックの資料展(仮)」(8.18～24)(予定) 1964年に行われた第18回オリンピック競技大会の関連資料を展示し、当時を振り返ります。(会場:調布市文化会館たづくり北ギャラリー)
【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

32	国立天文台天文機器資料館 (0422-34-3688) 日本における天文学の歴史と最新の研究プロジェクトについて、ご見学いただけます。
開館時間	10:00～17:00(入場は16:30まで)
休館日	年末年始(12.28～1.4)
入館料	無料

【URL】 <http://www.nao.ac.jp/access/mitaka/>

33	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館 (0422-53-1811) 武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。
開館時間	9:30～17:00
休館日	金曜・祝日・年末年始
入館料	無料

- 企画展「井の頭と江戸」(4.22～6.18) 井の頭恩賜公園開園100周年を記念して、江戸時代の井の頭とその周辺が江戸と深い関わりのある地域だったことを、典籍、古文書、絵図、錦絵などから紹介します。
【URL】 http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/

34	狛江市立古民家園(愛称:むいから民家園) (03-3489-8981) 文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。
開館時間	9:30～16:30
休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12.28～1.4)
入館料	無料

【URL】 <http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12,1004,60,html>

25	府中市郷土の森博物館（042-368-7921）				
	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。				
開館時間	9:00～17:00(入場は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3 年末年始	入館料	大人200円 4歳～中学生100円
<ul style="list-style-type: none"> ●ミニ展「1987 博物館の船出！」(4.1～2018.3.11) 郷土の森博物館の30周年を記念して、開館当時を振り返ります。 ●ミニ展「図解 川崎平右衛門」(5.20～7.2) 押立村の名主から代官になった川崎平右衛門の没後250年を記念し、その事績を紹介します。 ●企画展「戦国の府中～小田原北条氏の時代」(4.15～6.25) 小田原北条氏が関東に覇をとなえた時期の府中の様子を、市内に残された古文書やモノから探ります。 ●企画展「甲州街道と府中宿(仮)」(7.8～10.29) 江戸時代の五街道のひとつである甲州街道と、その宿場だった府中宿を、府中に残る史料から紹介します。 ●特別展「オレたち夏のキラ(KILLER)われ者」(7.22～9.3) ネズミ・ゴキブリ・カラスなどに代表される都市動物の問題児を紹介します。 ●郷土の森あじさいまつり(5.27～7.2) 園内の古民家とあじさいのコラボレーションをお楽しみください。 					
【URL】 http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html					

26	小金井市文化財センター（042-383-1198）				
	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3 館内整備のための臨時休館日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。 ●季節展「名勝 小金井桜」(3.25～5.28) 					
【URL】 http://tamahaku.jp/kojin/					

27	江戸東京たてもの園（042-388-3300）				
	江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。				
開館時間	4月～9月 9:30～17:30(入園は17:00まで)	休館日	月曜日(祝日または振替休日の場合は翌日)但し、4.3は臨時開園	入館料	大人400円、中学生(都外)高校生200円、大学生320円、65才以上200円、小学生以下および中学生(都内)無料
<ul style="list-style-type: none"> ●展示室 特別展「川崎平右衛門—武蔵野新田開発の立役者」(2.7～5.7) 江戸時代中期に開発された武蔵野新田の特徴を交え、平右衛門が新田開発で行った事績を紹介します。特別展「世界遺産登録記念 ル・コルビュジエと前川國男」(5.30～9.10) 国立西洋美術館の世界遺産登録を記念し、設計者のル・コルビュジエと弟子の前川國男について紹介します。 ●春夏の催し 「こどもの日イベント」(5.4-5) おつかいゲームやベーゴマ大会などお子さんを中心に家族で楽しめる催しを行います。「七夕のつどい」(7.1-2) 七夕にちなみ、筆で笹飾りに願い事を書いたり、折り紙教室などを行います。夜間特別開園「下町夕涼み」(8.4-5) 今年で15回目となる下町夕涼み。十重二十重になって踊る盆踊りは壮観です。 ●定例の催し ミュージアムトーク(第4土曜日) 学芸員が収蔵建造物や展覧会などについて解説します。伝統工芸の実演(第2土曜日と翌日曜日) 					
【URL】 http://www.tatemonoen.jp/					

28	東京農工大学科学博物館（042-388-7163）				
	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。				
開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日(創立記念日)、年末年始等	入館料	常設展無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「ロボットとヒューマンサイエンス」(5.27～9.9) ※キャンパスツアー、キャンパス体験に合わせて実演イベントを予定 ●イベント「国際博物館の日関連イベント」(5.27)、「サマーフェスタ」(8月(予定)) ※常設展示では毎週火曜日に大型機械の動態実演を行っています。 ※詳細はHPをご確認ください 					
【URL】 http://www.tuat.ac.jp/~museum/					

1	奥多摩水と緑のふれあい館（0428-86-2731）				
	水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日(祝日の場合は翌日) 12.28～1.4	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあう場として、奥多摩の自然とダムとの仕組みや水の大切さ、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業等を展示や立体映像(3Dシアター)等で分かりやすく紹介している。 ●春のミニコンサート(4.15・16) 12時～、13時30分～ ソプラノ歌手による歌と演奏 2日間公演 ●水道週間(6.1～7) 10時～16時 水道のPR 記念品の配布等 ※6月7日臨時開館 ●夏のフラダンスショー(7.29) 11時30分～、13時30分～ フラダンスの公演 ●ダム写真展(8.1～31)「奥多摩湖から多摩川源流の四季」等の写真展示 ●水源地郷土芸能公演(9.10) 小河内の郷土芸能(獅子舞、鹿島踊り) 12時～14時20分頃まで 					
【URL】 http://www.okutama.gr.jp/					

2	檜原村郷土資料館（042-598-0880）				
	数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。				
開館時間	4月～11月9:30～17:00 12月～3月10:00～16:00	休館日	火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●当館では、「自然」と観光」「歴史と民俗」の2つのテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具並びに兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などが展示されています。また、自然の移り変わり及び村の諸行事を収めたDVD「檜原歳時記」と「重要文化財小林家住宅」の鑑賞が常時可能となっています。 ●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」 ●特別展「夏休み昆虫標本展」(7.23)～(8.31) 主に村内で採集された昆虫約450点を展示する。 					
【URL】 http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html					

3	たましん御岳美術館（0428-78-8814）				
	明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。				
開館時間	10:00～16:30 (11月～3月は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	一般500円、高大生400円、中生300円
<ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度たましん御岳美術館前期展示「あなただけの風景」(3.25～11.26) 常設展示 日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち—萩原守衛、中原悌二郎、高村光太郎など 倉田三郎記念室 旅の素描—多摩— ギャラリートーク(5.13) 各日2回 ①11:00～ ②13:00～ 作品について30分程度、ご案内いたします。 ●「スケッチの日」第1回(4.11・12)、第2回(8.19・20) 開催時間 10:00～15:30 ※雨天決行 御岳溪谷の風景を楽しみながらスケッチしませんか?画材は無料で貸し出します。初めての方もお気軽にご参加ください。 					
【URL】 http://www.tamashin.or.jp/mitake.html					

4	青梅市郷土博物館（0428-23-6859）				
	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日) 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「絵画から見る青梅のお寺」(4.25～8.6) ご寄贈いただいた寺院の絵画を展示し紹介します。 ●「新収蔵品展示2017」(8.22～10.8) 平成28年度にご寄贈いただいた資料を展示します。 					
【URL】 http://www.ome-kyo.ed.jp/shakai/kyodo/index.html					

5	あきる野市五日市郷土館（042-596-4069）				
	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料を展示。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日 (水曜日が祝日の場合は翌日も) 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。 ●旧市倉家住宅での歳時事業 <ul style="list-style-type: none"> ・五月人形(展示期間 4月中旬～5月下旬) 旧市倉家の庭には大きな「こいのぼり」も飾ります。 ・七夕飾り(展示期間 7月上旬) 短冊を準備します。願い事を書いて飾ってください。 ・十五夜飾り(展示期間 9月中旬) すずき・団子・サトイモ等を縁側に飾ります。 					
【URL】 http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html					

6	羽村市郷土博物館（042-558-2561）				
	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00(旧下田家住宅は9:00～16:00)	休館日	月曜日(祝日の場合は開館)12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「花嫁衣裳と五月人形～新収蔵資料から～」(3.25～5.14) ●企画展「へびと民俗(仮)」(6.3～9.3) ●ミニ展示「玉川上水を調べよう」(6.17～12.17) ●特別展「食事の道具(仮)」(9.16～12.23) ●ミニ展示「羽村の野鳥(仮)」(9.30～12.16) ※季節ごとに「七夕かざり」「お月見かざり」の季節かざりを行っています。 <p>【URL】 http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</p>					

7	コニカミノルタ サイエンスドーム（八王子市こども科学館）（042-624-3311）				
	平成29年7月リニューアルオープン。プラネタリウムと「遊び科学」「宇宙」などの参加体験型の展示。				
開館時間	10:00～17:00(ただし火～金曜日9:00～12:00は事前予約団体専用)	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始など(夏休み期間は無休)	入館料	大人200円、4歳～中学生100円(プラネタリウム料金別)
<p>※改修工事と展示物更新のため、平成28年10月1日から平成29年7月中旬まで休館中です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新しい展示は、1階は「遊びカガク」のコンセプトで、小さなお子さんも体験できる展示物とカプラのコーナー。2階は「宇宙」と「八王子」をテーマに、シミュレーション「国際宇宙ステーションのミッションに挑戦」、小惑星探査機はやぶさのシミュレーター、地球や月、惑星などの表面を球体に映す4次元デジタル地球儀、市内で発掘された230万年前のハチオウジゾウの化石(レプリカ)、200年前の江戸時代に落下した八王子隕石のパネル展示など。 ●プラネタリウムでは解説員による当日の星空についての生解説「今夜の星空」や一般番組を投影。 ●土日祝には親子で楽しめる「工作教室」「実験ショー」「おもしろ生きもの講座」を開催。 ●夏休み期間中は講座等のイベントを多数開催します。 <p>【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html</p>					

8	八王子市郷土資料館（042-622-8939）				
	八王子の歴史と民俗を紹介。車人形や機織の体験も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始、その他館内整理日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「学芸員のおすすめ！蔵出し収蔵品展」(4.1～5.31) 郷土資料館開館50周年を記念し、郷土資料館で所蔵している資料のうち、常設展示には出していない学芸員おすすめの品々を展示します。 ●企画展「未来への贈りもの - 平成28年度寄贈資料展 -」(5.10～3.31) 昨年度中に当館に寄贈された資料の一部を紹介します。期間中、展示の入れ替え、一時休止期間があります。 ●企画展「戦争と子どもたち(仮)」(7.22～8.31) 戦時下の子どもたちの生活を、当時の教科書や生活用品などから振り返ります。 ●特別展「八王子百年の彩り」(9.16～11.26) 市制施行100年の八王子のあゆみを振り返る展示を実施します。 <p>【URL】 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankobunka/003/005/p005312.html</p>					

9	集合住宅歴史館（独立行政法人 都市再生機構）（042-644-3751）				
	歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。				
開館時間	13:30～16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始(2013年4月～)	入館料	無料 ※事前予約制
<ul style="list-style-type: none"> ●関東大震災復興のため建設された“同潤会代官山アパート”、戦後の住宅不足解消のため建設された“公団住宅”の一部を移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。 ●展示内容 同潤会代官山アパート：“独身住戸”、“世帯住戸”、公団住宅：“蓮根団地2DK”、“晴海高層アパート廊下階住戸”、“晴海高層アパート非廊下階住戸”、“多摩平団地テラスハウス”、“住宅設備の変遷”など ●見学方法 事前予約制のため予め電話・ホームページで申込みください。 <p>※集合住宅歴史館に併設されている環境共生実験ヤード、地震防災館、すまいと環境館につきましては、平成29年4月ごろから場内で一部工事が予定されており、ご見学できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>【URL】 http://www.ur-net.go.jp/rd/</p>					

20	くにたち郷土文化館（042-576-0211）				
	国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。				
開館時間	9:00～17:00(入館は16:30まで)	休館日	第2、第4木曜日(祝日の場合は翌日)12.28～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●写真展「くにたち あの日、あの頃」(4.22～6.4) 写真集刊行を記念して、高度経済成長期のくにたちを紹介した写真集の中から、作品を選出して展示します。 ●夏季企画展「国立市所蔵美術作品展」(仮題)(7.1～9.3) 国立市が所蔵する美術作品を展示します。 ●わら細工教室① わらぞうり作り(7月頃を予定)「くにたちの暮らしを記録する会」の指導で、素敵なわら草履を作る体験教室です。 <p>【URL】 http://www.kuzaidan.com/province/</p>					

21	たましん歴史・美術館（042-574-1360）				
	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。				
開館時間	10:00～18:00(入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日、年末年始	入館料	小貴政之助展 300円 五感でみるてんらんかい 100円 ※ともに中学生以下無料
<ul style="list-style-type: none"> ●小貴政之助展—生きた時代の証言—(3.21～6.25) ギャラリートーク(4.21、5.26) 14:00～ ●五感でみるてんらんかい(7.11～9.17) ギャラリートーク(7.15) 小学校1～3年生対象、(7.22) 小学校4～6年生対象、(8.26) 中学生対象 14:00～ <p>【URL】 http://www.tamashin.or.jp/</p>					

22	パルテノン多摩歴史ミュージアム（042-375-1414）				
	多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。				
開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休(4.12-3、5.17-18、6.14-15、7.11-13、8.16-17、9.5-6)	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「災害と多摩～多摩丘陵の自然災害と多摩ニュータウン開発～」(開催中～7.23) 丘陵地から都市へ変貌を遂げた多摩市と多摩ニュータウンにおける過去の災害を振り返り、地形とともに変わる災害の在り方を考えます。 ●特別展関連講演会「丘陵地の地形と開発および自然災害の特徴—多摩丘陵を中心に—」(4.29)、「東日本大震災における文化財レスキューと地域文化の“より良い復興”」(5.14)、「関東大震災時出土の埋蔵銭について」(5.28)、「関東大震災と多摩地域」(6.11)、「災害から見た社会—都市化とコミュニティ—」(7.1)、「江戸時代・多摩の洪水」(7.16) ●4階廻廊展示「植物を見つめて～多摩市植物友の会35年のあゆみ～」(4.25～9.10) ●みんなの植物観察会(4.11、5.9、6.13、9.12) 詳細は当館ホームページでご確認ください。 <p>【URL】 http://www.parthenon.or.jp/museum/ 【ツイッター】 http://twitter.com/par_tama_museum 【Facebook】 https://www.facebook.com/25thparthenon</p>					

23	東京都立埋蔵文化財調査センター（042-373-5296）				
	多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	12/29～1/3(年末年始)・3/13～3/18(展示替え)	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●「縄文の村」自然観察会①(4.15午前) ●縄文ワクワク体験まつり(5.3・4) ●古代布作り教室①(5.13午前) ●トンボ玉作り教室(①5.27/②7.8) ●コハク勾玉作り①(6.3午前) ●古代糸作り教室(6.17) ●第1回文化財講演会(6.24午後) ●縄文アクセサリー作り教室①(7.1午前) ●親子縄文土器作り教室②(7.22)③(7.23) 野焼き(8.19) ●夏休み親子体験教室①(8.2)②(8.9)③(8.16) ●縄文土器作り教室④(9.2・3) 野焼き(9.23) ●ワークショップ「江戸の泥めんこ作り」①・②(9.10午前・午後) ●第2回文化財講演会(9.30午後) <p>【URL】 http://www.tef.or.jp/maibun/</p>					

24	町田市立博物館（042-726-1531）				
	考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合開館、翌日休館)、展示替期間、資料整理期間、館内整理期間(5.8～7.7)	入館料	一般300円※中学生以下無料、障がい者半額
<ul style="list-style-type: none"> ●「藍色浪漫-伊万里染付・図変り大皿の世界-」(2.25～5.7) 江戸時代後期に制作された古伊万里大皿の絵文様の魅力を紹介します。 ●(仮)「黄金の地&南海夢想-東南アジア陶磁の名品-」(7.8～9.3) 山田義雄、中村三四郎、木内宗久、上神亮治、4氏寄贈コレクションおよび購入作品総計1500点に及ぶ館蔵東南アジア陶磁から精選した150点を展示する名品展です。 ●(仮)「江戸の粋 明治のシック-型染めデザインの美-」(9.16～11.5) 江戸時代中期から後期の町人階層の中で生まれた、「いき」の美意識を反映した小紋や中形の美しさと、続く明治時代の型染めの「シック」な魅力を探ります。 <p>【URL】 http://www.city.machida.tokyo.jp/</p>					

10	福生市郷土資料室（042-530-1120）				
	福生を中心とした多摩の歴史・民俗・自然を紹介しています。膳椀倉の復元展示も行っています。				
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日（祝日の場合は翌日休館）、年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展示「近代の情景—森田浩一の記事・絵画・写真から—」（4.22～7.9） 森田浩一は明治24年市内熊川に生まれ、府立二中から東京帝大、米国留学へと進んだ時期に日記や絵画を多数残しています。今回はこれらの資料から、明治大正期の福生の生活や風景を紹介します。 ●企画展示「平和のための戦争資料展」（7.15～9.18） 終戦の日に合わせて、福生に残された戦争関係資料から、平和の大切さを再認識することを目的とした展示を行います。 ●特別展示「むかし絵展Ⅱ（仮）」（9.23～11.26）市内在住の窪田成司氏の記憶画を通して、福生の昔の街並みや風景を紹介します。 【URL】http://www.museum.fussa.tokyo.jp 					

11	瑞穂町郷土資料館（けやき館）（042-568-0634）				
	瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。				
開館時間	10:00～21:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料（企画展は有料になることもあります）
<ul style="list-style-type: none"> ●写真展「未来へ伝える瑞穂」（4.18～5.31）公募で選ばれた写真を展示し、往年の瑞穂の景色を未来に伝えます。 ●企画展「瑞穂の学校（仮称）」（7月～8月（予定））瑞穂町域の学校に関する資料を展示し、町の教育のあゆみを振り返ります。 【URL】http://mizuhokyodo.jp 					

12	武蔵村山市立歴史民俗資料館（042-560-6620）				
	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●ミニ企画展「狭山丘陵の自然 花の輝き」（～6.30）開催中の植物写真展、好評につき会期を延長しています。 ●ミニ年中行事展「端午の節供」（4.15～5.14） ●年中行事展「七夕飾り」（7.1～7.9） ●夏休み子ども展示（7.20～9.3） ※展示会・催し物の詳細については、資料館ホームページ、市報等をご確認ください。 【URL】 http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html					

13	立川市歴史民俗資料館（042-525-0860）				
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺きの古民家園。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介する常設展示。 ●ミニ展示「端午の節句展」（4.11～5.7）市内幸町の古民家園でも展示します。 ●企画展「新収蔵品展」（6.13～7.9）平成28年度新たに寄贈された資料の一部を展示します。 ●ミニ展示「七夕飾り」（7.1～7.7）季節に合わせた、七夕飾りを展示します。 ●企画展「立川の遺跡2017」（7.19～9.3）昨年度出土した資料などを展示します。 【URL】http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html 					

14	日野市郷土資料館（042-592-0981）				
	日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「日野の産業革命～レンガ・ビール・養蚕」（開催中～4.16） ●企画展 姉妹都市盟約締結記念展「翼聖歌と岩手県紫波町・日野市」（4.22～7.9） ●勝五郎生まれ変わり物語探究調査団 公開講演会「（仮題）人々と共にある怪異」（5.21） 会場：日野市教育センター講堂 講師 多田仁一氏（中央大学特任教授）（申込制） ●夏休み子ども講座「探検！高幡不動尊と勝五郎生まれ変わり物語」（7.23）（申込制） 【URL】http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/ 					

15	首都大学東京 91 年館（042-677-1111・内線 2041）				
	大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。				
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧ください。首都大学東京の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介しています。 ●その他の企画 ウェブサイト等でお知らせいたします。 【URL】http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html 					

16	帝京大学総合博物館（042-678-3675）				
	帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。				
開館時間	9:00～17:00（入館は16:30まで）	休館日	日曜日・祝日・創立記念日・臨時休館日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●帝京大学所蔵絵画展 - 東京藝術大学卒業・修了作品 -（4.7～6.23）帝京大学が所蔵する東京藝術大学を卒業・修了した若手アーティストたちの絵画展です。展示替え期間（5.13～5.21） ●第47回世界児童画展（7.3～7.9）公益財団法人美育文化協会が主催する「世界児童画展」の入賞作品を展示します。 【URL】http://www.teikyo-u.ac.jp/introduction/tum/ 					

17	東大和市立郷土博物館（042-567-4800）				
	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。メガスターが映し出すプラネタリウムが評判。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料（プラネタリウムは有料）
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展示「歌に詠まれた鳥たち」（～5.21）百首あまりの鳥を詠んだ歌とともに、写真や剥製で鳥を紹介 ●企画展示「（仮）写真で見る多摩湖竣工90年」（7月下旬～9月上旬） ●ロビー展「狭山丘陵で学んだよ」（～5.7）小学生の自然観察の成果を展示 ●旧日立航空機（株）変電所特別公開（原則として毎月第2日曜の午後、4/22,23） ●旧吉岡家住宅登録記念特別公開（5/23～28） ●プラネタリウム投影 / 春番組「富士の星暦」・子ども番組「ナナとハチ」（～6.11）夏番組（6.17～9.10）七夕特別投影（7.2） ●宇宙の学校 / メガットくんクラブ（子供科学講座） ●星空観察会 / 昼間の星の観察会 / 自然観察会 ※6.13～16は、館内消毒作業のため休館します。 【URL】 http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366.html					

18	東村山ふるさと歴史館（042-396-3800）				
	「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。				
開館時間	9:30～17:00（入館は16:30まで）	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●東村山市祭囃子保存連合協議会創立五十周年記念展 無形民俗文化財「まつりばやし」（4.22～7.2） 重松流祭囃子を継承する市内6団体が集まり、昭和42年に結成された祭囃子保存連合協議会が平成29年で50年となるのを記念し、東村山市指定の無形民俗文化財「まつりばやし」を紹介する展示を行います。 ●企画展「夏休み自由研究のたね（仮）」（7.22～8.27） たのしい夏休み、自由研究で皆さん頭を悩ませていませんか？今回、ふるさと歴史館では、自由研究が楽しくなるように歴史館から見た研究の種を皆さんに蒔いてみようと思います。その種を利用して楽しい自由研究の花を咲かせてください。お待ちしております。 ◆東村山ふるさと歴史館 【URL】https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/ ◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 ☎042-390-2161 開館時間・休館日・入館料は上記ふるさと歴史館と同様。 【URL】https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/ 					

19	国立ハンセン病資料館（042-396-2909）				
	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。				
開館時間	9:30～16:30（入館は16:00まで）	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「ハンセン病博物館へようこそ」（4.29～7.30）近年全国のハンセン病療養所では、博物館施設の開設が続いています。これらの多くはそれぞれの療養所の付属施設として、所在する療養所の成り立ちやそこの生活や文化を中心に伝える活動をしています。こうした全国の博物館施設13館を紹介します。 【URL】http://www.hansen-dis.jp/ 					